

政策2 明日を担う「人」を育てる (教育)

施策8 教育環境づくり

SUSTAINABLE GOALS
DEVELOPMENT



後期基本計画

施策1

施策2

施策3

施策4

施策5

施策6

施策7

めざす姿

- 安全で充実した教育環境の中で、児童生徒が安心して学んでいます。
- 地域の食を生かした、安全でおいしい給食が提供できています。

現状・課題

(1) 学校施設の老朽化による一斉改築時期の到来

学校施設は、現在築30年以上が72%を占めており、そのうち40年以上が約34%、50年以上の建物が約14%と、施設の老朽化が進行しています。関市学校施設長寿命化計画に基づき、従来の事後保全型から予防保全型への転換を図り、維持管理費のトータルコスト縮減や予算の平準化を図る必要があります。

(2) 就学困難者への支援

様々な環境にある児童生徒が等しく教育を受ける機会が得られるよう、奨学金の貸与や就学援助費の支給により支援していくことが必要です。

(3) 学校給食の食物アレルギー対応

学校給食センターは、関、洞戸、武儀の3つのセンターを統合して、令和2(2020)年8月から配食を開始しました。新たに設置されたアレルギー対応調理室を活用し、食物アレルギーを持った児童生徒に対応した除去食を提供しています。

(4) 小学生の放課後活動の充実

小学生の保護者が安心して働くことができるよう、留守家庭児童教室の受入施設と指導員の確保が重要です。


(5) 学校施設の再編

児童生徒数や社会情勢の変化に加え、施設の老朽化への対応等を総合的に勘案し、地域の実情に応じた学校施設の再編に取り組む必要があります。

成果指標

指標	後期当初値	目標値(2027)
教育環境づくりの満足度(アンケート結果)	91.2% (2022)	UP
長寿命化改修を実施した校数	0校 (2022)	2校
留守家庭児童教室の受入率(入室者数/入室申請者数)	100% (2022)	100%

取組

重点	取組の方向性	SEKIism	取組の主な内容
	安全で快適な学校施設を整備します。		<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校施設長寿命化計画に基づく改修(瀬尻小、旭ヶ丘中) ○ 学校施設改築(倉知小とふれあいセンター複合化) プール、空調、防球ネット、屋上防水等の改修 教室照明等のLED化 ◇ 施設のバリアフリー化等
	経済的理由による就学困難な児童生徒を支援します。		要保護・準要保護児童生徒への就学援助費支給 高校生、大学生・専門学校生などへの奨学資金の貸付
	安全で安心な学校給食を提供します。	●	<ul style="list-style-type: none"> 地産品を利用した給食の提供 ◇ 食物アレルギーに対応する給食の提供
	放課後における学びや遊びの場づくりを充実します。	● ● ●	<ul style="list-style-type: none"> ○ 留守家庭児童教室の環境整備(桜ヶ丘小、富岡小、洞戸小) ○ 留守家庭児童教室の民間委託の検討 ○ 留守家庭児童教室の入室要件の見直し 学びクラブ、ふれあいクラブの運営・指導者確保
	学校施設の再編を推進します。		<ul style="list-style-type: none"> ○ 必要な学校再編の推進(寺尾小及び武芸小の統合等) ○ 学校再編計画の策定

新規の取組は○、拡充する取組は◇としています。
「SEKIism」は、●人口減少対策、●地域経済循環、●地域力向上、●地域愛醸成 をあらわしています。

後期基本計画

施策1

施策2

施策3

施策4

施策5

施策6

施策7

関連計画

- 第2期関市教育振興計画(2022~2031)
- 関市学校施設長寿命化計画(2021~2063)

施策9 小中学校教育

めざす姿

- 児童、生徒が積極的に学び、確かな学力と郷土愛を持ち、グローバルに活躍する未来の担い手が育っています。
- 学校、地域や家庭との連携や協働により、地域ぐるみで児童生徒を育む体制が整っています。

現状・課題

(1)ICTを活用した「個別最適・協働的な学び」の実現

令和2(2020)年度に全児童生徒に貸与したタブレット端末を活用し、個々の特性にあった学習や、データ通信による多様な人との協働による学習を推進していくことが求められています。

(2)一人ひとりの個性に沿った教育の推進

児童生徒一人ひとりの個性に沿った教育を提供するために、きめ細やかな支援体制を構築することが重要です。

(3)不登校児童生徒に対する専門的な視点からの支援

年間30日以上の小中学校長期欠席者は、コロナ禍前の平成30(2018)年度は146名であったのに対し、令和3(2021)年度は211名と増加しており、より専門的な支援が必要です。

(4)ふるさと教育と地域との連携

小学校全学年において、市の歴史・文化や自然の良さを学ぶ校外学習や、学校と地域が連携した教育活動を展開し、郷土愛を高めるための教育を実施しています。

(5)未来の担い手の育成

新しい価値やサービスが次々と創出される時代を生きる児童生徒が未来の担い手になれるよう、グローバルな視野やICTの活用能力の育成が求められています。

(6)中学校部活動の地域移行

全国的に教職員の勤務時間の適正化が求められる中、中央教育審議会の「学校における働き方改革特別部会」では、教職員が担うべき業務の明確化が進められており、部活動の地域移行の取組が進められています。





中学生オンライン留学

成果指標

指標	後期当初値	目標値(2027)
小中学校教育の満足度(アンケート結果)	92.1% (2022)	UP
小学校が楽しいと感じる児童の割合(全国学力状況調査)	86.0% (2022)	91.0%
中学校が楽しいと感じる生徒の割合(全国学力状況調査)	84.2% (2022)	85.0%

取組

重点	取組の方向性	SEKIism	取組の主な内容
	確かな学力を身につける教育を推進します。		◇ タブレット端末や電子黒板等を活用した効果的な学習 わかあゆ非常勤講師の配置
	多様なニーズに対応した教育機会を提供し、豊かな心を育成します。		外国人児童生徒等初期適応指導教室の設置 インクルーシブ教育の推進 関市版通級指導教室運営(かがやき指導員の配置) ○ 中学校新制服導入
	安心して学校に通うことができるよう、学校の相談・支援体制を構築します。		マイサポーター制度の活用 心の相談員、安全支援員の配置 特別支援教育アシスタントの配置 スクールロイヤー制度の活用 ◇ 不登校対策事業の充実(公認心理師等による検査等) ◇ 福祉部局との連携強化(ヤングケアラーなどへの支援) ○ 不登校生徒のための校内フリー教室(L教室)設置
	郷土の誇りを醸成する教育を推進します。	●	関市版「寺子屋」事業 ふるさと教育(鶺鴒観覧・日本刀鍛錬見学等) 市内文化施設、遺跡、環境関連施設の見学
	未来の創り手となる人材を育成します。	●	STEAM教育の推進 プログラミング教育の充実 ICT支援員の配置 中学生リーダー研修、中学生海外交流事業 企業連携による出前講座の実施 ○ 中学生オンライン留学事業
	健康でたくましい体を育む教育を推進します。	●	◇ 部活動指導員の配置 ○ 中学校部活動地域移行の推進 食育の推進・児童健康教室の開催

新規の取組は○、拡充する取組は◇としています。
「SEKIism」は、●人口減少対策、●地域経済循環、●地域力向上、●地域愛醸成 をあらわしています。

関連計画

- 第2期関市教育振興計画(2022～2031)
- 関市学校教育夢プラン

後期基本計画

施策1

施策2

施策3

施策4

施策5

施策6

施策7

めざす姿

○卒業生が専門的で広範な知識や技能を持ち、地域やグローバル社会において活躍しています。

現状・課題

(1) 専門的知識や技術を持った人材の育成

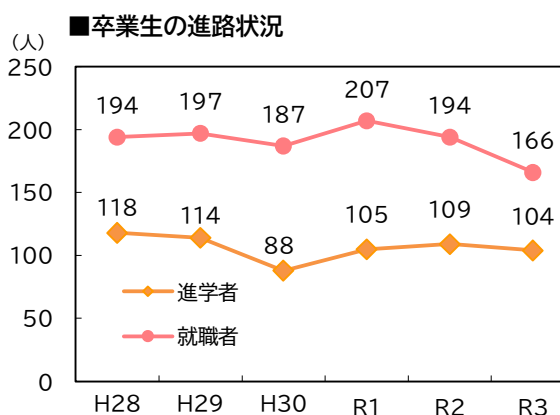
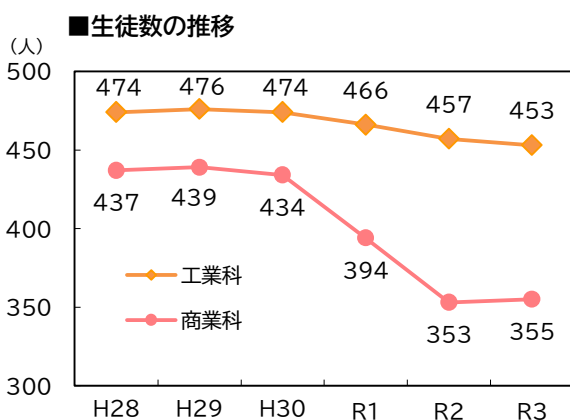
生徒の専門的知識や技術の習得を進め、市立の高等学校としての独自性や個性化を図る必要があります。そのため、各種機関との連携による専門教育の深化や、大学・専門学校との交流により専門的な学びの場を充実させることが重要です。

(2) 安全で快適な教育環境の整備

設備の更新や、施設の計画的な修繕による老朽化対策など、適正な維持管理が必要です。

(3) 企業との連携活動や地域活動の推進

関商工高等学校の卒業生の一定数が市外企業に就職しており、優秀な人材が流出している現状がみられます。地域や地元企業と連携・協働した実践的な専門教育を推進することで、地域産業への理解を深めると同時に、地域経済の活性化を担う人材の育成が求められています。



資料：関市立関商工高等学校



建設工学科

成果指標

指標	後期当初値	目標値(2027)
関商工高等学校の満足度(アンケート結果)	96.6% (2022)	UP
卒業生の資格取得者割合(卒業までに資格を1以上取得した生徒の割合)	99.0% (2021)	100.0%

取組

重点	取組の方向性	SEKIism	取組の主な内容
	学力と技能を向上させる 高等学校教育を推進します。		教育備品の整備 産業教育の振興 ◇ 大学・企業等による出前授業の実施 ◇ ICTの活用による学びの充実 ○ 部活動の地域移行の推進 ○ 適正な学校規模の検討
	安全かつ快適な教育環境 の充実を図ります。		空調機器の設置(特別教室) 校舎等の適正管理 ○ 学校施設整備計画の策定
	地域活動等に積極的に参 加し地域社会に貢献しま す。	● ●● ●●● ●●●● ●●●●●	市内企業との交流事業 刃物まつり等地域活動への参加 ◇ 産学官連携による地域資源を生かした実践研究 ◇ 市内企業の魅力を学ぶインターンシップの拡充 主権者教育の推進 ◇ Seki Shoko Company の活性化 ◇ まちづくり探求活動

新規の取組は○、拡充する取組は◇としています。
 「SEKIism」は、●人口減少対策、●地域経済循環、●地域力向上、●地域愛醸成 をあらわしています。



機械科

関連計画

- 第2期関市教育振興計画(2022~2031)
- 関市学校施設長寿命化計画(2021~2063)

後期基本計画

施策1

施策2

施策3

施策4

施策5

施策6

施策7